

2008年第1四半期 [1月～3月] 不正アクセス届出状況

●独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:西垣 浩司)は、2008年第1四半期[1月～3月]のコンピュータ不正アクセスの届出状況をまとめました。

2008年第1四半期の届出状況から、最近の傾向として

- SSHで使用するポートへの攻撃を受け、侵入される被害が多い
- ソフトウェアの脆弱性を突かれてサーバに侵入され、ファイルを改ざんされたり他サーバへの攻撃の踏み台にされたりする被害が多い
- 本人になりすまされて会員制サイトにログインされ、不正使用される被害が多い

と言えます。以下のサイトを参考にコンピュータセキュリティ設定の徹底及び日常の運用管理によるセキュリティ対策を継続するよう心がけてください。

■ IPA セキュリティセンター・個人ユーザ向けページ

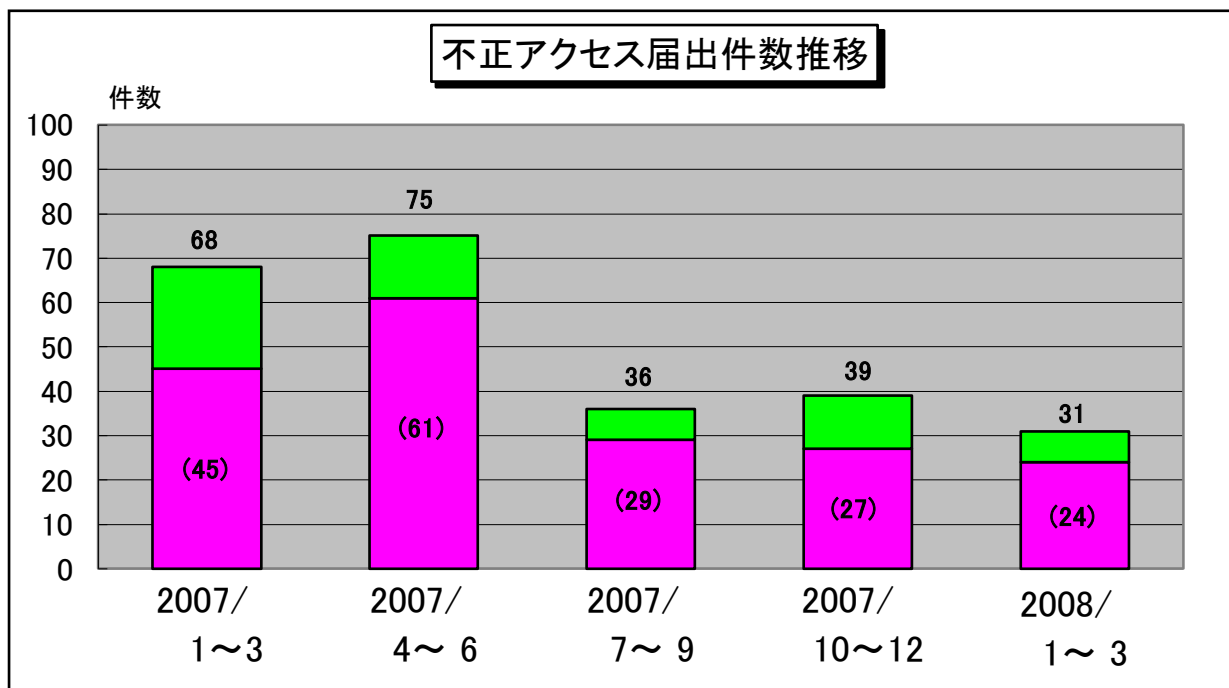
<http://www.ipa.go.jp/security/personal/>

■ 情報セキュリティに関する啓発資料

<http://www.ipa.go.jp/security/fy18/reports/contents/>

1. 届出件数

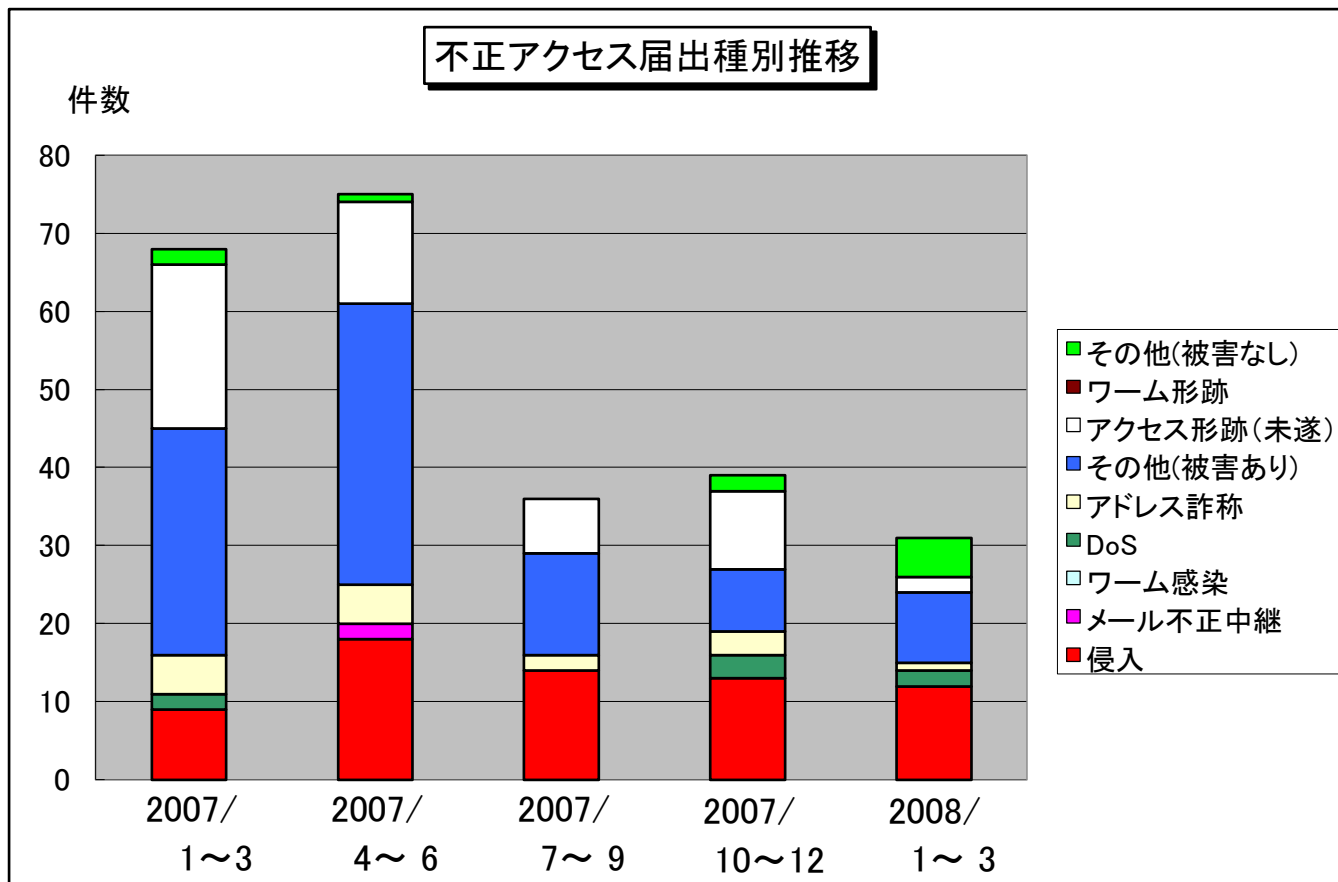
2008年第1四半期(1月～3月)の届出件数は合計31件であり、前四半期の約0.8倍となりました。被害があった件数は前四半期の約0.9倍となりました。



注) グラフ中の () 表示は、届出総数のうち**被害があった件数**を示しています。

2. 届出種別

IPAに届けられた31件（前四半期39件）のうち、実際に被害があった届出は24件（前四半期27件）と全体の77.4%を占めました。実際に被害に遭った届出とは「侵入」「ワーム感染」「アドレス詐称」「メール不正中継」「DoS」「その他(被害あり)」の合計です。



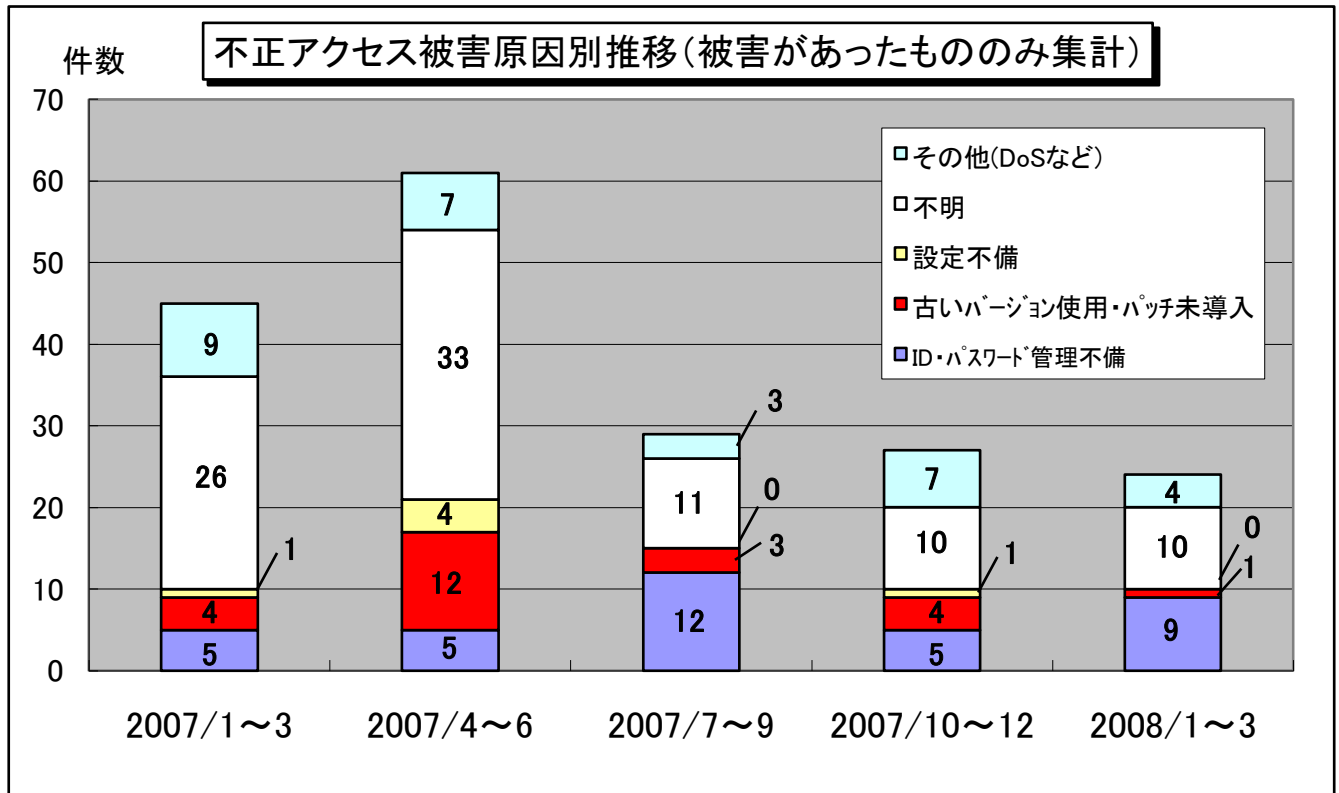
	2007年 第1四半期		2007年 第2四半期		2007年 第3四半期		2007年 第4四半期		2008年 第1四半期	
侵入	9	13.2%	18	24.0%	14	38.9%	13	33.3%	12	38.7%
メール不正中継	0	0.0%	2	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ワーム感染	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
DoS	2	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%	2	6.5%
アドレス詐称	5	7.4%	5	6.7%	2	5.6%	3	7.7%	1	3.2%
その他(被害あり)	29	42.6%	36	48.0%	13	36.1%	8	20.5%	9	29.0%
アクセス形跡(未遂)	21	30.9%	13	17.3%	7	19.4%	10	25.6%	2	6.5%
ワーム形跡	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(被害なし)	2	2.9%	1	1.3%	0	0.0%	2	5.1%	5	16.1%
合計(件)	68		75		36		39		31	

注) 網掛け部分は、被害があった届出種類を示しています。

割合の数字は小数点第二位を四捨五入していますので、合計が100%ちょうどにならない場合があります。

3. 被害原因

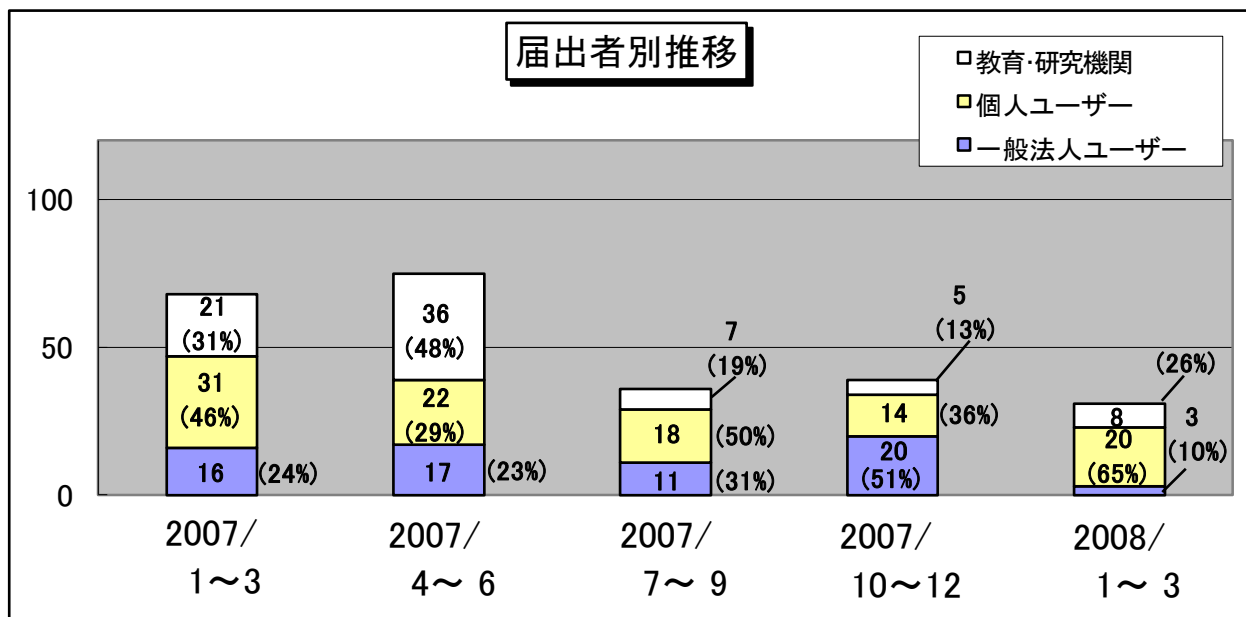
実際に被害があった届出（24件）のうち、原因の内訳はID・パスワード管理不備が9件、古いバージョン使用・パッチ未導入が1件などでした。



注) 被害原因が複数あった届出については、1件の届出につき主たる原因を代表として1件と集計しています。

4. 届出者の分類

届出者別の内訳は、個人が約65%を占め、高い割合を占めています。



注) 割合の数字は小数点第一位を四捨五入していますので、合計が100%ちょうどにならない場合があります。

■お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター
加賀谷/花村/望月

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp